

今シーズンの雪山初め

北アルプス 白馬 小蓮華山

藤岡

【日時】 2009年11月21 (土) ~23日(月)

【メンバー】 小暮、田邊、國田、藤岡

11/21(土) くもり

久しぶりの雪山だ。直前に柵池ロープウェイがまだ動いていないことが解ったが長〜い道路を歩く覚悟で出発する。ほどなく雪が出てさっそくワカンをつけてあるき始める。エアリアの夏道を頼りにしていたが登山道に道標がなく自然園まで行過ぎてしまった。スキーの学生7人パーティーと前後しながら登山道を探してうろうろしてやや時間のロス。登山道にはいると徐々に雪は深くなり、膝上程度のラッセルとなる。久しぶりのラッセルだが積雪は浅いので踏み固めるまでもなく順調に進んでゆける。國田さんは8年ぶりのワカンとのことで、やや苦勞しながら歩いている。当初予定の白馬大池には遠く及ばず、天狗原手前の登山道脇を踏み固めて幕とする。すぐ下に沢が割れていて水が取れるのがありがたい。

11/22(日) 晴~翌朝にかけて雪

今日は行けるところまで行こうということで、暗いうちからヘッドで歩き始める。天狗原は4mくらいの高さまで藪が生えているが、春先には全て埋まってしまうのだから相当な積雪量だろう。天狗原から乗鞍岳への登りはそれなりに傾斜もあり汗をかきながら交替でラッセルを続ける。乗鞍岳は大きな岩がゴロゴロ積み重なっており、ワカンだとちょっと歩きづらい。ケルンからは白馬大池と小屋が見えるが、夏道通しだと大回りになるので、池の南側のくぼ地をショートカットすることにする。鞍部へのくだりはハイマツ帯でところどころ落とし穴が開いている。稜線への急登で斜面がクラストしてきたため、ここでアイゼンに履き替える。稜線に乗りつぽ足で時々くるぶしまでもぐるが、元気な小暮さんがぐいぐい引っ張ってくれる。

途中風の通り道ではかなり吹かれるが、なんとかりミットの12:30前に小蓮華山に到着した。事前の予報ではずっとくもりだったのであまり展望は期待していなかったが、思いの他天気が持ってくれた。眼下には雲海が広がり、天候悪化の予兆か空に広がる不思議な雲の合間から日の光が差し



て幻想的な景色だ。



時間も押しているので着た道を引き返す。同じく途中でちょっと吹かれたが、特に問題なく乗鞍岳手前の鞍部まで降りてゆく。乗鞍岳のあたりで少し休憩し、天狗原へ向けて下ってゆくと、稜線には徐々にガスが湧き視界がなくなってゆくのが見える。ガスに追い立てられるように天狗原を過ぎ、16:00過ぎに天場へと戻った。

明日は下山を残すのみ。早い時間から宴会開始となり、沢山のつまみで美味しい酒が飲めた。

11/23(月) 晴

夜半から明け方に降雪があり、テントから雪が滑る落ちる音がしていた。少々寝坊してテントを撤収し、下山にかかる。登山道はところどころ視界が開けて届かなかった白馬岳が良く見える。林道に出れば後はひたすら長いアスファルトの道を下るのみ。行きよりも気温が上がったせいか道路の雪も溶けてきているようだ。グレンデは最上部でも藪が出ておりスキー場開きにはもう少し時間がかかりそうだ。道路歩きがいかげん嫌になってきたころ、ようやく車に到着して、雪山始めは無事終了した。

直前に降雪がありラッセルもできたし、展望の良い稜線歩きも楽しめて、思った以上に満足々々の山行でした。

(國田さんのコメント)

私にとって、トマに入会して初めての雪山でした。3日間の中でさえ、山は色々な表情を見せてくれたような気がします。一日目ワカンで深雪と格闘している時は厳しく、二日目稜線を強風の中必死に足を前に出している時は恐ろしく、三日目の下山時に青空の下遠くに見える雪化粧の連なりや頂はどこまでも美しく感じました。今回三人の先輩方には色々なことを教えていただきました。これから技術や体力を身につけて、雪山に挑んだり戯れたりしていきたいと思った山行でした。

【行程】

11/21 駐車場(9:05)～梅池ヒュッテ(13:05-30)～天狗原手前BP(16:30)

11/22 BP(5:30)～天狗原(6:30)～乗鞍岳(8:45)～稜線(10:30)～小蓮華山(12:20-25)
～乗鞍岳(14:45)～天狗原(15:30)～BP(16:10)

11/23 BP(7:00)～駐車場(11:10)

【地図】白馬岳、白馬町